

令和 5 年度第 2 次募集
新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題
外国人留学生特別選抜

生命・食料科学専攻
生物資源科学コース

D3

専門科目

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は、表紙を含めて全部で 3 ページある。
- 3 農業経済学については 2 問中 1 問 (I もしくは II) を選択し、解答用紙のチェック欄 (問題番号) に○をつけること。
- 4 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。ただし、指定された場所に書ききれない時は、解答用紙の裏に記入する。
- 5 受験番号は、各解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 6 解答時間は、120 分である。
- 7 下書きは、問題冊子の余白を使用すること。
- 8 予め届け出た 1 科目を解答すること。

農 業 経 済 学

- I. 図 1 は企業が製品志向から顧客志向，競争相手志向を経て，最終的には市場志向へと転換していく過程を描いている。このことを踏まえて，今日の農業・食料生産に求められているパラダイム転換について具体的に述べよ（「国際フードシステム論」）。

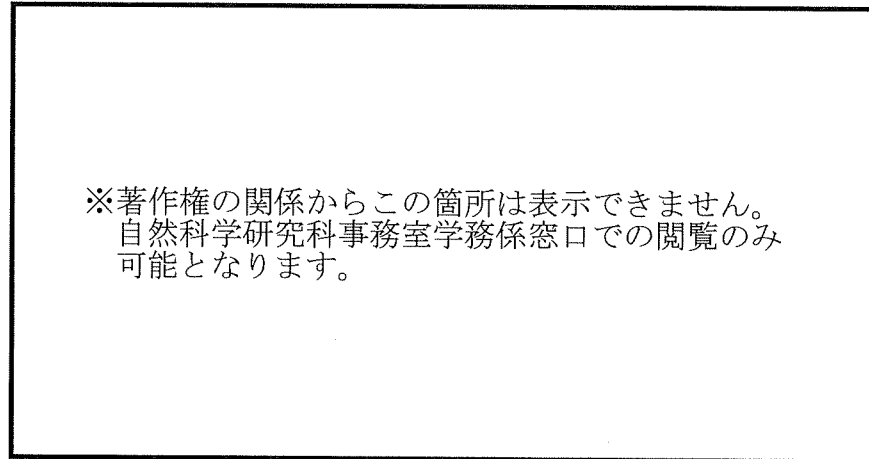


図 1 企業志向の展開

出所： Kotler, P. and Armstrong, G. (2010) *Principles of Marketing (13th edition)*,
Pearson.

- II. 次の①②について述べよ（農産物流通論）。

- ① 日本の農業協同組合（総合農協）が行う 5 つの主要事業について説明せよ。
- ② 中国の農民专业合作社と日本の総合農協の共通点および相違点について説明せよ。

草地生態学

- I. 日本における草地植生と遷移について、次のキーワードを参考にして説明せよ。ただし、すべてのキーワードを使用する必要はない。

キーワード [生態系, 生産者, 植生分布, 形態, 構造, 極相, 退行遷移, シバ, ススキ, ササ]

- II. 草地草類の生理・生態特性について、次のキーワードを参考にして説明せよ。ただし、すべてのキーワードを使用する必要はない。

キーワード [陽生植物, 多年生, 再生, 寒地型, 暖地型, 季節生産性, 貯蔵器官, 分げつ芽]

- III. 以下の1から10の文章のうち、正しいものには○, 誤っているものには×を, 解答欄の下線部に記入しなさい。

1. サバナは温帯草原である。
2. 長期的に土地利用する草地を永年草地という。
3. イネ科植物の進化は、新生代の草原の衰退によって生じた。
4. 牧草は野草から作られた。
5. 日本を代表する（半）自然草原の優占植物種はキクである。
6. 乾草を作る時カビを生えさせないようにするため、できる限り早く乾燥する。
7. 放牧管理において、草地の物質循環を理解することは重要である。
8. 放牧地において、牛は草高20cmの牧草を草高60cmの牧草より好む。
9. 放牧管理において、家畜の放牧強度を考慮する必要はない。
10. 放牧のみで牛を飼養する時、牛の1日の食草時間は概ね4時間である。